

第302回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成25年10月28日（月）午前11時00分
2 開催場所 テレビ新潟 会議室
3 委員総数 8人 出席委員7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
碓井 真史	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

常務取締役（編成・報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之
制作部長	小木 祐介

事務局	紫竹 聡子	水野 明子
-----	-------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「新潟県黒龍江省 友好 30 周年

好！好！中国ハルビンに行こう!!」

〔放送：平成 25 年 10 月 12 日（土）10:30～11:00 放送〕

（説明：稲田報道制作局長）

2) 会社報告

- ・放送種別報告 （報告：編成部長）
- ・9月の視聴者の意見 （報告：番組審議会事務局）
- ・定例の報告等 （報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側より、この番組は、今年、新潟県と黒龍江省が、友好県省提携 30 周年、また去年、日中国交正常化から 30 年となったのを契機に経済交流、自治体交流を推進している新潟県から、姉妹局提携しているテレビ新潟と黒龍江電視台でマスコミ交流ができないかという依頼があり、テレビ新潟から番組制作を提案したところ取材が実現したものであることが説明された。

番組では、開発が進むハルビンを紹介する初級編として街や観光情報等を紹介している。

- 全体として、ツアー番組の要素が多かったが、ハルビンと新潟のつながりを感じさせる要素も含まれており、楽しく見る事ができた。
- 外食シーンで値段が安いという印象を持ったが、平均収入、家賃など生活水準のわかるデータがあると、コメントの裏付けがわかるので良かった。
- ハルビンのビールの消費量が世界第3位というのは、人口が多いからなのか、本当にビールが好きなのか、またアイスクリームが人気だというシーンでは、なぜ売れるのかなどもっと背景を知りたかった。
- 新潟県と黒竜江省の友好県省提携 30 周年の歩みやこれまでの経緯なども知りたかった。
- 経済の活性化を感じる都会的な現地の映像に驚いた。
- 食事のシーンの映像で、おいしそうな料理が見え、中国と云えば以前は、偽装食品報道のイメージがあったが、番組を見ていると旅行したくなるような印象があった。どんな宿泊場所があるのかなど旅の具体的な情報も欲しかった。
- 現地の新潟ゆかりの施設が紹介されていたが、一方で新潟では、ハルビンゆかりの場所やお店などがあるのかどうか、知りたくなった。
- 氷雪祭は、興味深かったが、実際、本当に行くかどうか考えると、ハルビンがあこがれの観光地というよりは、どこにでもある観光都市になっているのではという印象を持った。それは新潟についても同じことが言えるのではないだろうか。
- ハルビンが新潟から空路2時間で行くことができる身近な都市と感じた。しかし、ニュース等で、ハルビンの話題に接している

わりには、このところ中国に関してネガティブな報道が多かったせいか、楽しそうな番組を見ていても、現地は安全？安心？対日感情は？などが気になった。中でも（旅した場合に宿泊する）ホテルは、もっと見たかった情報であった。

●お店の人が、「私の店に来てください」と言うメッセージがあったが、対日感情がどうなのかという点で、街の人、市民が、「（ハルビンに）来てください」というコメントがあると、明るい気分になれたのではないかと思う、

●ハルビンの街の中がどうなっているかは、意外と知られていないと思うので、興味深く見ることができた。

●大平アナの元気で楽しいキャラがよく伝わり、個性が活かされていたと感じた。

●大平アナはコートを着ていたが、街の人は半袖姿だった。季節がいつなのか、わかりにくかった。

●実際、ハルビンの人達がどんな暮らしをしているのか、現地に行かないとわからない情報をもっと知りたかった。モノの値段などをクイズ形式で見せるなどの工夫があってもよかった。

●今回はハルビン初級編ということだが、今後、中級・上級編の内容もいずれ制作してはどうか。

●今後の両地域の交流、日中国交について触れてもよかったのではないか。

●番組のタイトルについて、中国の現状を踏まえた工夫があってもよかったのではないか。

●萬代橋のある太陽島公園の映像は、新潟とのつながりを感じ、交流があることがわかりやすくてよかった。一方、氷雪祭には、新潟からも参加していると思うので、もう少し新潟とのつながり

を触れてほしかった。

●ハルビンと交流というより、ハルビン食べ歩き情報という印象だった。

●黒竜江省が新潟県と友好県省提携 30 周年というのを、ほかの県民のかたがどのくらい意識しているだろうか。ハルビンと新潟の関係をもっと庶民的な関係のなかで豊かにしていく必要があるとすれば、30分という尺だけで見せるのは大変。もう一度、新潟が海外と友好関係を作っている都市とのネットワークを、県民にわかりやすく伝えてもらえたらよいと感じた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

9月……176件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成25年10月28日)から昨日(平成25年11月24日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第301回審議会では、「樽砵の響きに魅せられて～にいがた総おどり～」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第302回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 4月～9月 放送種別報告
- ・ 9月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 9月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（9/23、10/3、10/13、10/23）
- ・ BPO報告（No.128）

以上